



南アルプス市議会

# 河野ゆうこ通信

発行者：南アルプス市議会議員 河野木綿子

南アルプス市小笠原 880-20/TEL & FAX 055-284-5910/E-mail: fight-1840-mome.y@ac.auone-net.jp

みなさま、こんにちは！ 市議会の河野です。寒さが一段と厳しくなっていますが、元気いっぱい市内を走っております！

この度の台風15号19号で亡くなられた方へ心からお悔やみ申し上げますと共に、被災された方々の一日も早い復興をお祈り申し上げます。台風19号で南アルプス市は、市内に避難勧告発令をしました。指定避難所が開設され、私も小笠原小学校の避難所に行きました。今回の経験で様々な視点から問題点が明確化したと感じています。議会でしっかりと検証と提言をして参ります。

また、両台風への募金活動も行い、皆さまの真心を山梨日本赤十字社に寄託いたしました！



## <10月19・26日に街頭演説会>

10月はピンクリボン月間、乳がんや子宮がん、がん対策について訴えました。

## <11月 2日オレンジリボン街頭演説>

山梨県本部女性局・青年局と合同で、11月の「児童虐待防止推進月間」の街頭を行いました。

## ★★令和元年6月議会代表質問★★



### Q1 市政運営の取り組みと将来ビジョンについて

- ① 二期目の市政運営の取り組み方針について、五点に亘る方針があった。これらの方針は。
- ② 今後、どのように子育て支援策が進められるか。「子育てするなら南アルプス市」と、さらに内外へアピールする考えは。
- ③ 今後の財政状況は、さらに厳しさを増すことは間違いなく、このため、自主財源確保のひとつとして企業誘致を望む声は大きい。今後の考えは。

**A1** 市民目線での市政運営をしたい。子育てでは、病児保育の実施と3歳以下の保育料無料化を検討したい。また、小中一貫教育を芦安に続き、八田でも行った。企業誘致については、まずは完熟農園跡地の優良企業誘致を実行する。

### Q2 性的マイノリティへの支援策について

心と体の性別が一致しない性同一性障がいに対する理解は、大きく前進した。本市でもすでに、証明書等交付請求書には、性別を示す記述は削除されている。今後、性別に関係なく制服を選べる中学校や印鑑証明書の性別記載を削除している自治体もある。今後は、同性パートナーシップ承認に向けた取り組みも必要と考えるが、本市の考えは。

**A2** 印鑑証明の性別記載の削除については、実施する。他は検討していく。

### Q3 ひきこもり支援について

ひきこもりは、1980年代以降、若者の問題として扱われてきた。昨今の事件で大きくクローズアップされた親も高齢化して生活が困窮するケースもある。8050（はちまるごーまる）問題である。

ひきこもりを声に出せない家族に対する支援、ひきこもり家族会への支援の充実や支援サポーターの養成など、ひきこもり支援の考えは。

**A3** 専門性をもって関係機関と連携した福祉総合相談体制の充実に努め、市民の理解と協力を広げるサポーター養成研修に取り組む。

### Q4 共生社会の実現に向けた「ともに生きる条例」の取り組みについて

公明党会派で本年、別府市の「別府市障害のある人もない人も安心して安全に暮らせる条例」（通称名「ともに生きる条例」）について視察研修をした。別府市では、障がいの有無にかかわらず誰もが安心して安全に暮らせる社会、共生社会を実現するため取り組みを進めている。本市での「ともに生きる条例」制定への考えは。

**A4** 条例は制定しないが、「南アルプス市障がい者計画」の基本理念に反映したい。

### Q5 市営住宅の今後の計画について

市営住宅については、何度も議会で議論を行ってきた。昨年6月議会で、本年度、市営住宅の計画策定をするとの答弁だったが、計画策定には、実行可能な計画策定が出来るのか。

**A5** 令和元年度から10年間を計画期間とする「南アルプス市公営住宅等長寿命化計画」の策定と、居住者の住み替えを促す制度として新たな「市営住宅家賃補助事業」に伴う経費を計上した。



## 9月議会一般質問

### Q1 受動喫煙防止対策について

「なくそう！望まない受動喫煙」と厚生労働省のホームページに表示されている。

2018年7月に健康増進法の一部を改正する法律が成立し、2020年4月から全面施行され、この法律により事業者だけでなく国民も望まない受動喫煙を防止する取り組みが、マナーからルールへと変わることになる。本市の受動喫煙防止対策の現状と今後の取り組みの考えは。



**A6** 本市では、小中学校と保育所では、敷地内禁煙、本庁舎や消防署、企業局では、特定屋外喫煙場所を設けている。施設利用者が受動喫煙することの無いよう努めていく。

**★副流煙は、ニッケルが30倍、ニコチンが20倍、タールが15倍、一酸化炭素が15倍、カドミウムが7倍あることを示し、全面禁煙を訴えました。また、市のイベントなども喫煙場所を廃止するか、遠くに設けるように訴えました。**

## Q2期日前投票の簡素化について

投票率を向上するためにも期日前投票の簡素化を進めるべきと考える。高齢者、障がい者の方、その家族から期日前宣誓書を記入する負担を改善して欲しいとの声が多数寄せられている。そこで、はがきによる投票入場券の裏面に宣誓書を掲載し、期日前投票所での記入を省略できる期日前投票の簡素化を推進するよう求めるが、本市の考えは。

### A7

**投票入場券に「宣誓書」を掲載する提案について、これを実施することで、期日前投票のわずらわしい手続きの簡素化や、受付時間の短縮にもなることから投票率の向上にも期待できる。今後、具体的な検討を重ね次回執行の選挙をめどに導入してまいりたい。**

## Q3防犯カメラの設置について

- ① 公共施設の小中学校については、22校が完全設置となり、関係者からも安全・安心な対策が推進されたとの声をいただいている。平成29年の議会質問後、検討課題となっている保育所の防犯カメラの設置の進捗状況と完全設置の考えは。
- ② その他の公共施設での防犯カメラ設置についての現状と今後の設置の考えは。
- ③ 地域の防犯対策として、警察署と地域が連携する中で、設置に補助金を交付する提言をしたが、調査研究するとその答弁だった。その後の考えは。

**A7** 現在の13の公立保育所中、5施設で設置・稼働している。今後も引き続き計画整備し**完全設置を目指します**。その他の公共施設に関しては、計画的な設置を検討していく。また、地域の防犯カメラについては、犯罪防止の観点から非常に有効であり、犯罪の抑止になるが、今後も引き続き検討する。

## Q4高齢者の安全・安心な自動車運転の在り方について

- ① 交通手段である自動車は、自分や家族の最も大切な足であり、高齢社会を迎えるに当たり、高齢者が安全に運転できるよう、高齢者ドライバーの安全運転講習や自身の運転技術の認識や技術向上などの支援事業が必要と考える。現状と取り組みの考えは。
- ② 自身の運転に不安を感じ、運転免許証を返納する高齢者ドライバーが増えている。そこで、自主返納の仕組みと、返納によって得られる特典について、現在のコミュニティバスのパス定期券を一年分贈呈する、温泉施設の利用割引する、など割引特典を増やす考えは。



**A8** 本市では、昨年、高齢者の事故が30件発生している。専門交通指導員が地域の「いきいきクラブ」などに出向いて年間19回、254名を対象に交通安全教室を実施した。今後、実態に即した支援事業について検討していく。

また、免許証の自主返納について、本市のコミュニティバスの年間パスポート代3000円を2500円で購入でき、返納した際に「運転経歴証明書」の交付を受け、山梨県タクシー協会に加入しているタクシーに乗ると一割引になる。今後、返納者のコミュニティバス利用の拡大につながる取り組みを進めていく。

（質問・回答は、主旨を抜粋しました。詳細は市のホームページに掲載されています。ご覧ください。）

## ★★ ボランティア活動★★



平成22年から行っているボランティア活動を今年は、11月17日（日）に行いました！毎年、沢山の党员さんにボランティア活動に参加していただいています。感謝！です。楡形7号線を落ち葉清掃しています！



### 暮らしの相談

暮らしの相談をお伺いいたします。お気軽にお電話ください！

南アルプス市議会議員 河野ゆうこ TEL：FAX 284-5910